

失語症会話パートナーをしてみませんか？
障がい者の社会参加を支援し、当事者に寄り添う



失語症会話パートナー

養成研修募集のご案内

1. 受講対象 どなたでも参加できます
2. 講師 京都光華女子大学 医療福祉学科言語聴覚専攻 教授 瀧澤 透 氏
京都府言語聴覚士会 会員
3. 募集定員 30名
4. 研修日時・内容・時間

	11月25日(土)	11月26日(日)	
時間	14:00~16:30	9:30~12:00	13:30~16:30
内容	基本的な理解	コミュニケーション の工夫・手段	実習“失語症の方と話し てみましょう”

5. 研修会場 京都光華女子大学
11/25・26(土・日) 京都光華女子大学 慈光館6階 太子堂
6. 参加費(資料代) 一般 1,000円/学生 無料/当事者 無料
7. 受付期間 2017年11月22日まで ※定員になり次第締め切らせていただきます
8. 申し込み方法 下記の枠内に記入し、FAXにて申し込みください。(メールでも可能)
申し込み FAX 075-374-8715 (京都ボランティア協会)
E-mail: info@kyoto-v.info

名前	いずれかに○	連絡先住所	電話番号
	一般・学生		

主催：(社) 京都府言語聴覚士会
(社) 京都ボランティア協会
京都光華女子大学医療福祉学科言語聴覚専攻
後援・助成：公財) 京都新聞社会福祉事業団(予定)

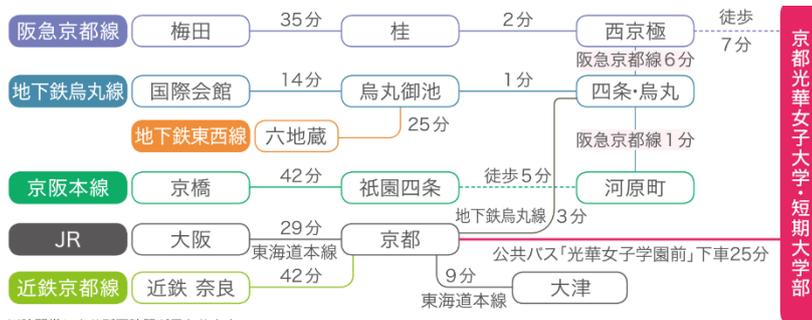
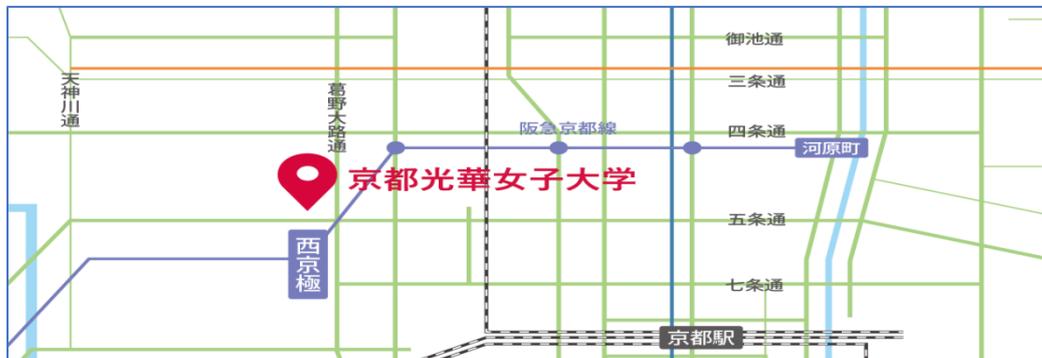
失語症パートナーって？

失語症という障害をご存知でしょうか。脳卒中（脳出血・脳梗塞）や交通事故などにより、主に左大脳が損傷されると起こります。失語症になると話を聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと、そして計算が難しくなります。「住所はどこですか？」と尋ねられても「じゅうしょ？じゅうしょって何？」と理解が困難になります。コーヒーが飲みたいのに「コーヒー」という言葉が出なかったり、「コーヒー」の代わりに「こうちゃ」と言ってしまうたりします。そして、これまで毎朝読んでいた新聞も「???」読めなくなったりします。場合によっては自分の名前も思い出して書けなくなります。

失語症会話パートナーは、このような障害を持つ方々をサポートします。失語症のある方々は、ご家族とともに障害を持ちながら一生懸命生活をしておられます。ですが、失語症のために「一人で行動できない」「家に閉じこもりがちになる」「家族の間でも意思疎通ができない」「話し相手がいない」という状態に陥っています。失語症会話パートナーはこのような状態の失語症の方々の話し相手になったり、一緒に行動したりすることで、社会参加を促していきます。そして失語症の方々は社会参加をすることで、言語機能に良い刺激を受けることも可能になります。

歩行が困難な方には車いすが、視覚障害者の方には盲導犬が、難聴者の方には補聴器や手話通訳が整い、社会はバリアフリー化が進んでいます。しかし、失語症の方々にはそのバリアフリー化が進んでいるとは言い難い状況です。失語症会話パートナーはそのバリアフリー化の一助になると思います。ですが、失語症会話パートナーは誰でもすぐになれるものではありません。失語症について基本的知識を身につけ、コミュニケーション手段とスキルを学習し、実際に失語症の方々とのお話を行うことで初めて可能になります。失語症や失語症会話パートナーについてご興味、ご関心のある方々にぜひ、ご参加いただければ幸いです。

会場への交通アクセス（京都光華女子大学：京都市右京区西京極葛野町38）



※時間帯により所要時間が異なります。

- 通学バス路線**
下車はすべて「光華女子学園前」です
- 【京都市営バス】**
特27 (32) (73) (80) (84) 系統
京都駅発 (73) 系統 (烏丸口C5のりば)
(84) 系統 (八条口F2のりば)
- 【京阪京都交通バス】**
21・21A・27 系統
京都駅発 (全系統) 烏丸口C2のりば
- 【京都バス】**
(81) (85) (86) 系統
京都駅発 (烏丸口C6のりば)